

6 お客さま・地域の皆さま・関係機関の皆さまとの連携

ホームの非常停止ボタン(SOSボタン)

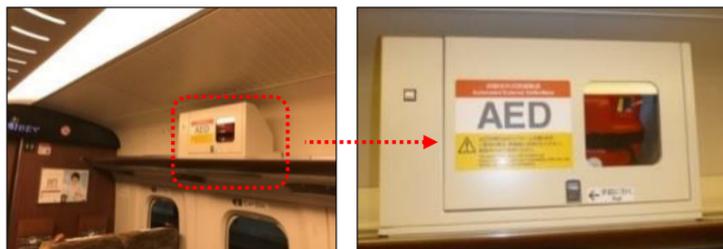
線路内への転落や列車の安全運行に支障をきたすような場合に列車を停止させるための設備です。新幹線駅と在来線の一部の駅に設置されており、このボタンを押すと列車が停止します。在来線については駅の乗降人員や列車速度を考慮し、増設を実施しています。

SOSボタンの設置駅数（在来線）	
年度	合計設置駅
2018年	49駅
2019年	52駅
2020年	56駅
2021年	58駅
2022年	61駅



AED(自動体外式除細動器)

心臓が正常に拍動できなくなった方に対し、一刻も早く対応できるように九州新幹線及び西九州新幹線の全編成や九州新幹線の全ての駅、九州内各県の県庁所在地駅などにAEDを設置しています。



新幹線車両の設置箇所
 ・800系:4号車
 ・N700系:6号車
 ・N700S:4号車
 (写真はN700系)

防護装備品

新幹線車内での刃物等による危険行為が発生した場合に備え、車内に防護装備品等を搭載しています。必要により、車掌等が使用します。



[防護盾]

[耐刃手袋]

[耐刃ベスト]

[防犯スプレー]

医療用具

万が一、お客さまが車内でお怪我をされた場合や体調不良になられた場合に備え、新幹線に医療用具等を搭載しています。



[パルスオキシメーター]

[汎用聴診器]

[手動血圧計]

[ペンライト]

※上記のほかに、三角巾、止血パッド、ゴム手袋、油紙、包帯、救急絆、ガーゼ、不織布テープ、消毒液、鋏、ピンセット、とげ抜きも搭載しています。

7 安全報告書へのご意見

6-5 新型コロナウイルス感染症対策

JR九州では、「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」等に基づき、お客さまに安心してご利用いただけるように、鉄道設備等の消毒や換気、駅窓口へのビニールカーテンの設置、駅でのポスターの掲出、インターネット列車予約や指定席券売機での座席指定方法のご案内、放送によるマスク着用や時差出勤等へのご協力の呼びかけを行うとともに、従業員についても、全社員のマスク着用やWEB会議の積極的な活用、時差出勤・テレワークの実施などの取り組みを実施しました。また、実際の新幹線車両を使用して、車両内の空気が空調装置により6~8分で入れ替わることを独自検証で確認し、その様子をホームページ等で公開していました。

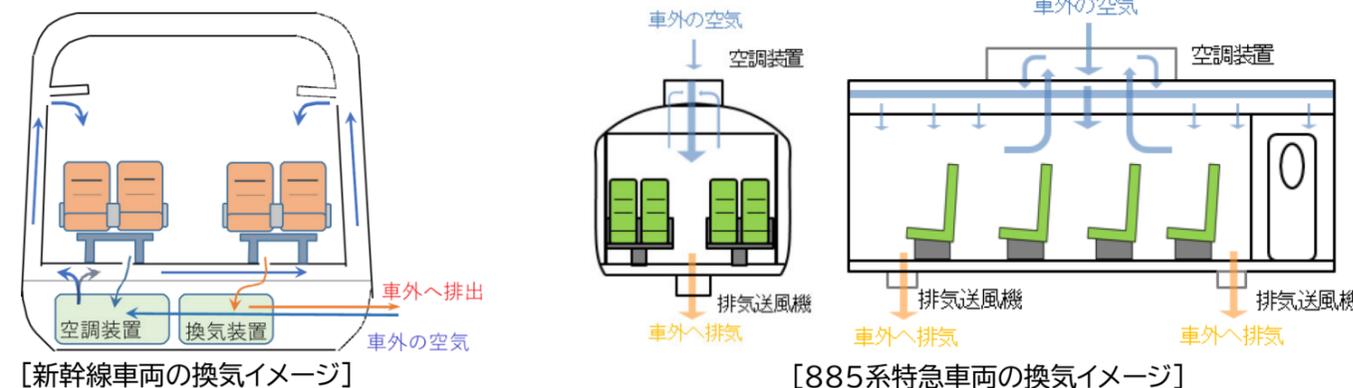


[ビニールカーテンの設置]

[アルコール消毒の様子]

[シートマップでの座席指定]

[ポスターの掲出]



[新幹線車両の換気イメージ]

[885系特急車両の換気イメージ]



[空調装置による換気検証:左:煙充填時、右:6分後の車内の様子]

7 安全報告書へのご意見

「安全報告書2023」に関するご意見や感想等につきましては、当社ホームページ上の「お問い合わせ」内にある「ご意見・ご要望」で承っております。

<https://www.jrkyushu.co.jp/contact/feedback.html>